

●第55回数理社会学会大会の報告申し込みについて (Call for Papers)

研究報告を下記の要領で募集します。奮ってご応募ください。おおむね大会1か月前に学会ウェブページでプログラムが公開されます。

(1) 「自由報告」の申込期間は 2013年1月10日（木）～1月20日（日）（必着） です。

- ・数理・計量社会学あるいはそれと関連する研究領域のなかで、報告者が自由にテーマを選んで報告するものです。
- ・報告形態は口頭発表のみで、発表15分、討論10分です。英語で報告することができます。
- ・学会ウェブページから「Call for Papers」ファイルをダウンロードしてください。「申込書」と「報告要旨」を同時に提出することで正式の申し込みとします。報告の概要と報告要旨では、すくなくとも「目的・方法」と「結果・考察」に分けて、それぞれ明確に記述してください（報告要旨の節タイトルは変更可）。
- ・登壇者が所定の書類を、研究事務局と大会事務局の2か所に電子メールで提出してください。報告要旨が報告要旨集に収録されます。
- ・プログラム作成上の都合から、萌芽的セッション報告となることがあります。

(2) 「萌芽的セッション報告」の申込期間は 2013年1月10日（木）～1月20日（日）（必着） です。

- ・萌芽的なアイデア、厳密な定式化には至っていない発展途上の研究などをポスター形式で報告し、オーディエンスとのやりとりを通して発展させることをねらいとします。
- ・報告形態はポスターのみです。最大A0判が利用可能です。英語で報告することができます。
- ・学会ウェブページから「Call for Papers」ファイルをダウンロードしてください。「申込書」を提出することで正式の申し込みとします（報告要旨は提出不要）。タイトルのみプログラムに記載されます。
- ・登壇者が所定の書類を、研究事務局と大会事務局の2か所に電子メールで提出してください。

(3) 「会員発案の特別企画」の申込期間は 2013年1月10日（木）～1月20日（日）（必着） です。

- ・「会員発案の特別企画」は、課題を設定した部会の編成など、自由報告とは異なる研究報告の企画案を募集するものです。書式自由の「企画書」を提出することで正式の申し込みとします。
- ・代表者が書類を、研究事務局と大会事務局の2か所に電子メールで提出してください。
- ・採否が研究活動委員会にて審査されます。

発表日時に関する要望、申し込み後の共著者の追加・変更、タイトルの変更には応じられません。1人が登壇できるのは、「学会賞受賞講演」「シンポジウム」など特別企画を除き、原則1回とします（ただし、自由報告と萌芽的セッション報告の登壇は両方できます）。

第55回数理社会学会大会 2013年3月19日（火）、20日（水祝）

東北学院大学土樋（つちとい）キャンパス

研究事務局 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学文学部 小林盾

E-mail : jams.research@gmail.com

大会事務局 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1

東北学院大学教養学部 神林博史

E-mail : kanba@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp

第 55 回数理社会学会大会 (JAMS55 東北学院大学)

自由報告申込書

発表者氏名 (所属) (登壇者 1 名に○)			
登壇者は	1. 数理社会学会会員	2. 非会員	
報告タイトル (報告要旨と一致)			
報告言語	1. 日本語	2. 英語	
使用機器	1. 会場設置パソコン	2. 持参パソコン	3. その他 ()
種別	(ア) 1. 数理	2. 計量	3. その他 ()
	(イ) 1. 理論	2. 方法	3. 実証
報告の概要 (各 100 字程度)	(目的・方法)		
	(結果・考察)		
登壇者連絡先 氏名 住所 電話 E-mail	〒		
萌芽的セッション報告への移動	プログラム作成上の都合から萌芽的セッション報告となった場合、移動に 1. 応じる 2. 応じない (報告を辞退する)		
大会報告トラベルグラントに	1. 応募する 2. 応募しない		

(以下はトラベルグラント応募者のみ記入、別紙トラベルグラント Call for Applications 参照)

応募者氏名 (登壇者 に限ります)			
応募者は	1. 数理社会学会会員	2. 入会申込書を学会事務局受理済み	
他の旅費助成は	1. ない	2. ある () 万円	
所属			
職名または学年*			
主な仕事は**	1. 任期のない常勤職	2. 任期のある常勤職	3. 非常勤職 4. 学生
大学院修士課程入学	西暦 () 年 (複数ある場合は最初の入学年) その後研究中断期間は () 年 (なければ 0)		
自宅の最寄り駅	() 線 () 駅		

*「専任講師」「助教」「非常勤講師」「修士課程 2 年」など、複数ある場合はすべて記入。

**日本学術振興会特別研究員は「任期のある常勤職」。

【つぎのページの注意事項をご確認ください】

自由報告申込書 注意事項

(1) 提出方法

- 登壇者が申込書（このファイル、必要ページ以外削除）、報告要旨（ワードファイルなど）、報告要旨印刷用版下（PDFファイル）の3つを電子メールに添付して、研究事務局と大会事務局の2か所に送付してください。
- メールタイトルを「**JAMS55 自由報告申込（平松闇）**」、申込書ファイル名を「**JAMS55 自由報告申込書（平松闇）**」、報告要旨ファイルを「**JAMS55 報告要旨（平松闇）**」のように、登壇者氏名を記入してください（要旨をテフなどで作成する場合はワードファイル不要）。

(2) 報告要旨作成要領

- 報告形態は口頭発表のみです。報告要旨が要旨集に掲載されます。見本ファイルを参照し、以下にしたがって作成してください。見本ファイルに上書きしても結構です。
- 要旨集は大会直前に印刷されますので、著者校正はありません。

(ア) サイズと分量：A4 判モノクロ。2 ページか4 ページのどちらかのみ（図表含む）。

(イ) レイアウトとフォント：上下 30mm、左右 20mm の余白。1 段組。ページ番号は記入しない。

原則として日本語は明朝体、英数字は Times New Roman 体。1 ページ目は以下のとおり。

- 1 行目：タイトル（18 ポイント）
 - 2 行目：サブタイトル（あれば）（14 ポイント）
 - 3 行目：空白
 - 4～6 行目：氏名、所属、メールアドレス。発表者が複数の場合、登壇者氏名の先頭に○印（12 ポイント）
 - 7 行目：空白
 - 8 行目以下：本文（節タイトルはボールド 12 ポイント、本文は 10.5 ポイント）
- (ウ) 言語：日本語または英語。
- (エ) 要旨集印刷の際に、研究事務局で形式を整えることがある。

(3) 使用機器について

- パソコン用プロジェクタを使用できます。会場設置パソコンは、OS がウインドウズ 7 でオフィス 2010 を利用可能です。ファイルは当日持参してください（USB メモリが利用可）。
- 持参パソコンの場合、ウインドウズノートパソコンが使用可能で、接続口はミニ D-Sub15 ピン。マックパソコンを使用する場合は、専用ケーブルを準備してください。

第 55 回数理社会学会大会 (JAMS55 東北学院大学)

萌芽的セッション報告申込書

発表者氏名 (所属) (登壇者 1 名に○)	
登壇者は	1. 数理社会学会会員 2. 非会員
報告タイトル	
報告言語	1. 日本語 2. 英語
種別	(ア) 1. 数理 2. 計量 3. その他 ()
	(イ) 1. 理論 2. 方法 3. 実証
報告の概要 (200 字程度)	
登壇者連絡先 氏名 住所 電話 E-mail	〒
大会報告トラベルグランントに	1. 応募する 2. 応募しない

(以下はトラベルグランント応募者のみ記入、別紙トラベルグランント Call for Applications 参照)

応募者氏名 (登壇者に限ります)	
応募者は	1. 数理社会学会会員 2. 入会申込書を学会事務局受理済み
他の旅費助成は	1. ない 2. ある () 万円
所属	
職名または学年*	
主な仕事は**	1. 任期のない常勤職 2. 任期のある常勤職 3. 非常勤職 4. 学生
大学院修士課程入学	西暦 () 年 (複数ある場合は最初の入学年) その後研究中断期間は () 年 (なければ 0)
自宅の最寄り駅	() 線 () 駅

*「専任講師」「助教」「非常勤講師」「修士課程 2 年」など、複数ある場合はすべて記入。

**日本学術振興会特別研究員は「任期のある常勤職」。

【つぎのページの注意事項をご確認ください】

萌芽的セッション報告申込書 注意事項

(1) 提出方法

- 登壇者が申込書（このファイル、必要ページ以外削除）を電子メールに添付して、研究事務局と大会事務局の2か所に送付してください。報告要旨原稿と報告要旨印刷用版下は不要です。
- メールタイトルを「**JAMS55 萌芽申込（平松闇）**」、申込書ファイル名を「**JAMS55 萌芽申込書（平松闇）**」のように、登壇者氏名を記入してください。

(2) ポスター作成要領

- 報告形態はポスターのみです。以下にしたがってポスターを作成して、ご持参ください。

(ア) 最大で A0 判（横 841mm, 縦 1189mm）のスペースが利用可能。ただし、最大の大きさである必要はない。

(イ) ポスターには、発表者全員の氏名・所属と、タイトルを記載。

(ウ) 日本語または英語で作成。

(エ) ポスターの貼りつけにはマグネット使用（開催校が用意）。